

## 資料1

### 補装具及び日常生活用具の概念に関する規定等

#### ○ 補装具

「職業その他日常生活の能率の向上を図る。」

(補装具給付事務取扱要領：身体障害者)

「将来、社会人として独立自活するための素地を育成助長する」

(補装具給付実施要領：身体障害児)

「身体の欠損、又は身体の機能の損傷を補い、日常生活又は職業生活を容易にするために必要な用具」

(身体障害者更生相談所マニュアル)

「義肢、装具、眼鏡、補聴器のように直接装着して用いるものと、車いす、つえ、点字器のようにそれほど身体に密着しないで用いるものがあり、補装具とは広く、身体上の障害を補い、日常生活又は職業生活を容易にするために必要な用具」

(昭和41年身障審答申)

「直接身体につけるものに限定せず、広く健常者との間の身体上のギャップを補い、身体障害者の日常生活又は職業生活を容易にするための用具」

(昭和45年身障審答申)

「損なわれた身体機能を代償するもので、医師の監督下での処方適合判定及び装着訓練を必要とするもの」

(昭和57年身障審答申)

#### ○ 日常生活用具

「日常生活上の便宜を図るための用具であって、厚生大臣が定めるもの」

(身体障害者福祉法)

「重度身体障害者の家庭復帰を促進するとともに健全な家庭生活の場を与えて福祉の向上を図るため自力で家庭生活を営み得る設備に改装する必要」

「日常生活設備の階層は、最も基本的な日常生活動作である排泄及び入浴を自ら行いうるようになるもの」

(昭和44年予算要求時の考え方)

「真に日常生活用具を必要とするすべての重度障害者に給付できるようにすべきである。」 (昭和45年身障審答申)

「日常生活を便利又は容易ならしめる機器」

(昭和57年身障審答申)

「身体障害者のニーズに即した用具や新技術により開発される製品は可能な限り採用するよう努める必要がある。」 (昭和57年身障審答申)

「社会生活用具については、国民生活水準の動向を勘案しつつ、適宜交付品目に加えていくことが望ましい。」 (昭和57年身障審答申)

資料 2

新規交付に係る判定事務の簡素化

更生相談所が判定		市町村が判断	
更生相談所に来所	医師の意見書により判定	医師の意見書により判断	市町村のみで判断
<p>義肢・装具、座位保持装置</p> <p>車いす (オーダーメイド)                      電動車いす                      頭部保護帽 (オーダーメイド)</p>	<p>車いす (オーダーメイド)                      電動車いす                      頭部保護帽 (オーダーメイド)</p> <p>遮光眼鏡、歩行器</p> <p>弱視眼鏡、補聴器、                      車いす (レディメイド)</p>	<p>遮光眼鏡、歩行器</p> <p>矯正眼鏡、コンタクトレンズ                      義眼、人工喉頭 (笛式)                      手押し型車いす (レディメイド)</p> <p>頭部保護帽 (レディメイド)                      歩行補助つえ (つえを除く)                      頭部保持具、</p> <p>座位保持いす、起立保持具</p>	<p>色めがね、人工喉頭 (電動式)                      収尿器                      盲人安全つえ、点字器                      ストマ用装具、歩行補助つえ (つえ)</p> <p>頭部保護帽 (レディメイド)                      歩行補助つえ (つえを除く)                      頭部保持具</p>

資料3

意見書(案)

(車いす用)

氏名			男・女	生年月日	年 月 日	生 歳		
住所	TEL							
医学的所見	手帳	級	障害名	原傷病名		(発生年月日)		
	障害原因	先天性・後天性(外傷・戦傷・戦災・産業・交通・疾病・その他)						
障害の状況								
補装具の種目及び名称	補装具の種目及び名称			・新規 ・再交付(前回交付年月日) ・修理				
	基本種類	1 普通型 2 前方大車輪型 3 片手駆動型(左・右) 4 手動チェーン型 5 レバー駆動型(左右) 6 手押し型(A・B) 7 その他	バックレスト	1 標準式 2 着脱式 3 折たたみ式 4 リクライニング式 ヘッドレスト(要・不要) 後方開き(左・右・中央)	ブレーキ	1 トグル式 a)引き b)押し引き 2 レバー式 a)平板 b)丸棒 3 取り外し式 4 介助式 a)ハブ b)足踏み 5 片手操作式	ハンドル	1 径 (16・19・21・23・その他) 2 材質 (アルミ・カド・プラスチック・その他)
		製作方法	1 レディメイド 2 オーダーメイド 3 モジュール方式 4 その他	アームレスト		1 標準 2 デスクアーム 3 その他		延長(右・左 cm)
	座形式	1 リクライニング式 2 リフト式 3 ティルト式 4 その他	レングサポート	1 固定式 2 着脱式 3 跳ね上げ式 4 開き式	駆動輪	1 径(インチ) (18・20・22・24・その他) 2 リム材質 (アルミ・鉄・その他) 3 着脱式(要・不要) 4 タイヤ (空気入り・ソリッド・その他)	グリッパ	1 アール 2 直角 3 不要
				1 標準式 2 挙上式 3 開き式 4 着脱式		1 径(インチ) (4・5・6・7・8・その他) 2 主材料 (カド・カボン・その他) 3 タイヤ (ソリッド・空気入り・その他)		付属品
	フレーム	1 固定式 2 折たたみ式	パイプ径(mm) 2 材質 a)アルミ b)鉄 c)ステンレス d)チタン e)その他 3 色( )	1 レッグレスト a)無 b)一体式 c)左右独立式 2 フットレスト (左右跳ね上げ・前後跳ね上げ・その他) a)プレート式 (プラスチック・カド・その他) b)レザー式 (工業用カド・ナイロン・ビニル・その他) c)パイプ式	キャスタ	指	備考	
		a) シート幅 ( ) cm b) シート長 ( ) cm c) 前座高 ( ) cm d) 後座高 ( ) cm e) アームレスト高 ( ) cm f) バックレスト高 ( ) cm g) その他 ( ) cm						
	内容	意見書作成年月日 年 月 日						
		医療機関名						
		医師名 印						

意見書(案)

(電動車用)

氏名		男・女	生年月日	年 月 日生	歳	
住所	TEL					
医学的所見	手帳	級	障害名	原傷病名	(年 月 日発生)	
	障害原因	先天性・後天性(外傷・戦傷・戦災・産業・交通・疾病・その他)				
	障害の状況					
補装具の処方内容	補装具の種目及び名称				・新規 ・再交付(前回交付 年 月 日) ・修理	
	基本種類	1 普通型 2 簡易型 3 その他			車名 型式	
	速度	1 45km/h 2 60km/h				
	座席構造	1 リクライニング式 2 電動リクライニング式 3 電動リフト式 4 ティルト式 5 電動ティルト式 6 その他				
	附属構造	1 バックレスト着脱 2 アームレスト着脱 3 レッグサポート着脱 4 レッグサポート挙上 5 ヘッドレスト・ネックレスト 6 持ち上げ取手 7 その他				
	附属品	1 シートベルト 2 テーブル 3 クッション 4 充電器 5 夜光装置 6 その他				
	指定寸法	1 メーカー標準 2 指定 a)シート幅 ( cm) b)シート長 ( cm) c)前座高 ( cm) d)後座高 ( cm) e)アーム外高 ( cm) f)バック外高 ( cm) g)その他				
	制	操作部	ジョイスティック	1 上肢(右・左・中央) 2 下肢(右・左・中央) 3 頭部(チン・ヘッド) 4 音声 5 入力式 6 その他		
			特殊方式	1 音声 2 多様入力式 3 その他		
	御	操作ボックス	1 スイッチ類	a)メーカー標準	b)指定 ( )	
2 レバーの形			a)メーカー標準	b)指定 ( )		
3 レバーの長さ			a)メーカー標準	b)指定 ( )		
4 レバーの抵抗			a)メーカー標準	b)指定 ( )		
5 その他						
備考						
操作能力						
意見書作成年月日		年 月 日		医療機関名		
				医師名		
				印		

## 意見書(案)

(肢体不自由用(車いす・電動車いすを除く))

氏名		男・女	生年月日	年 月 日生 歳
住所	TEL			
医学的所見	手帳	級 (交付年月日)	障害名	原傷病名 (発生年月日)
	障害原因	先天性・後天性(外傷・戦傷・戦災・産業・交通・疾病・その他)		
	障害の状況			
	補装具の種目及び名称		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規</li> <li>・再交付(前回交付 年 月 日)</li> <li>・修理</li> </ul>	
装具の処方内容	補装具の使用目的			
	補装具の処方内容			
	処方効果			
意見書作成年月日				
年 月 日				
医療機関名				
医師氏名				印

意見書(案)

(視覚障害用)

氏名			男・女	生年月日	年 月 日生 歳
住所	TEL				
医学的 所 見	手帳	級 (交付年月日)	障害名	原傷病名	(発生年月日)
	障害原因	先天性・後天性(外傷・戦傷・戦災・産業・交通・疾病・その他)			
	障害の状況	1. 視力(裸眼:右 左 ) (矯正:右 左 ) 2. 視野 ・両眼による視力の視野の1/2以上が欠けている ・両眼の視野がそれぞれ10度以内 ・視能率による損失率が90%以上 ・視能率による損失率が95%以上 3. 現症 (外 眼:右 左 ) (中間透光体:右 左 ) (眼底:右 左 )			
補 装 具 の 処 方 内 容	補装具の種目 及び名称				・新規 ・再交付(前回交付 年 月 日) ・修理
	補装具の 処方内容				
	処方効果				
意見書作成年月日			年 月 日		
			医療機関名		
			医師氏名		印

意見書(案)

(聴覚・音声・言語障害用)

氏名				男・女	生年月日	年 月 日生 歳																																																															
住所	TEL																																																																				
医 学 的 所 見	手帳	級 (交付年月日)	障害名	原傷病名		(発生年月日)																																																															
	障害原因		先天性・後天性(外傷・戦傷・戦災・産業・交通・疾病・その他)																																																																		
	障害の状況		<p>1. オーディオグラム オーディオメータ型式( )</p> <p>dB</p> <table border="1"> <tr><td>-20</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>40</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>60</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>80</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>100</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>120</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>130</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>125 260 500 1000 2000 4000 8000Hz</p> <p>2. 鼓膜の状況</p> <p>3. 平均聴力レベル 右 dB 左 dB</p> <p>4. 語音明瞭度</p> <p>5. 音声・言語機能障害の状況</p>				-20							0							20							40							60							80							100							120							130						
	-20																																																																				
0																																																																					
20																																																																					
40																																																																					
60																																																																					
80																																																																					
100																																																																					
120																																																																					
130																																																																					
補装具の種目 及び名称				<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規</li> <li>・再交付(前回交付 年 月 日)</li> <li>・修理</li> </ul>																																																																	
補装具の 処方内容																																																																					
処方効果																																																																					
意見書作成年月日 年 月 日																																																																					
医療機関名																																																																					
医師氏名						印																																																															



資料4

介護保険の対象と考えられている福祉用具

・介護保険で貸与等される品目(案)とそれに対応する補装具、日常生活用具

介護保険で貸与等される品目(案)		補装具	日常生活用具
貸 与 ( レ ン タ ル )	車いす	○ ※	
	車いすの付属品 (クッション、電動補助装置等)	○	
	特殊寝台		○
	特殊寝台の付属品 (マットレス、サイドレール等)		
	褥瘡予防用具 (エアパッド、ウォーターマット等)		○ (特殊マットとして給付)
	体位変換器		○
	手すり		○ } (歩行支援用具として給付)
	スロープ		
	歩行器	○	
	歩行補助杖	○	
	痴呆性老人徘徊感知機器		×
	移動用リフト(吊り具を除く)		○
	購 入 ( 給 付 )	腰掛便座	
特殊尿器			○
入浴用いす			○ } (入浴補助用具として給付)
浴槽用手すり			
浴槽用いす			
入浴台			
浴室用すのこ			
浴槽内すのこ			
簡易浴槽			×
移動用リフトの吊り具		○(移動用リフトとして給付)	

※ 普通型車いす、普通型電動車いす、手押し型車いす

福祉用具給付制度等検討会委員名簿

氏 名	職 名
秋山 勝喜	(福) 全国重症心身障害児(者)を守る会副会長
○伊藤 利之	横浜市総合リハビリテーションセンター長
大橋 謙策	日本社会事業大学社会福祉学部教授
加倉井周一	北里大学医療衛生学部教授
苅安 達男	(福) 日本身体障害者団体連合会理事
河合 洋祐	(財) 全日本聾唖連盟副理事長
木村 哲彦	日本医科大学医療管理学教室教授
黒田大治郎	広島国際大学医療福祉学部医療福祉学科教授
櫻井 祥代	静岡県島田市市民福祉部福祉課長
末田 統	徳島大学大学院工学研究科教授
永島 弘子	日本肢体不自由児協会
引地 孝一	神奈川県福祉部障害福祉課長
松友 了	(福) 全日本手をつなぐ育成会常務理事
村谷 昌弘	(福) 日本盲人会連合会長

○印は座長

## 参 考

### 福祉用具給付制度等検討会開催経過

第1回 平成10年6月30日

- 1 補装具給付事業
- 2 日常生活用具給付事業
- 3 他制度による給付事業
- 4 福祉用具の研究開発・普及

第2回 平成10年7月21日

- 1 福祉用具の概念の明確化
- 2 日常生活用具の給付対象者

第3回 平成10年8月18日

- 1 現行制度下における補装具の概念
- 2 現行制度下における日常生活用具の概念

第4回 平成10年9月11日

給付等手続きの簡素・合理化

第5回 平成10年9月25日

- 1 費用負担の在り方
- 2 介護保険制度との関係

第6回 平成10年10月21日

- 1 福祉用具の研究開発の重点化
- 2 福祉用具の評価、情報提供システムの在り方

第7回 平成10年11月20日

まとめ